

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: 令和6年3月 22日

事業所名: すこやかキッズランド須磨

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	訓練別、人数に応じたスペースを適切に確保し、安全を第一にした空間作りをおこなっている。	はいの評価が多数、どちらともいえないが少数あり。 意見:生活スペースが1部屋しかないので十分ではない。	引き続き必要な物の適切にな配置をおこない、安全なスペースの確保に努めていく。
	2 職員の適切な配置	子ども10名の定員に対して、1/2以上の人数の職員を配置している。	はいの評価が多数、わからないの評価が1名。 意見:細部まで見て頂けています。 ・多数の職員で見てもらえているので安心して預ける事が出来る。	今後も現状の職員配置数を維持し、皆さんに安心して利用してもらえる環境作りに努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内はワンフロアで段差を無くし、視覚支援を用いて目的別に区切ることで理解しやすい環境を整備している。	はいの評価が多数、わからないが少数あり。 意見:1部屋なので、トイレはすぐ覚えて1人で出来るようになっている。	子どもの特性や状況に合わせて、安全で安心なできる環境作りを進めていく。また、見学のアプローチも随時行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	随時アルコールでの消毒や換気を行うと共に、日々の清掃により清潔を保持している。また、フロアにクッションマットを敷く等安全で温かい空間作りに取り組んでいる。	はいとの評価が多数、いいえやわからないが少数あり。 意見:見る機会がないのでわからない。	清潔感と明るくぬくもりを感じる空間を維持していく。また、見学のアプローチも随時行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎朝のミーティングや申し送りのカルテなどの確認を徹底し共通意識で利用者への支援を行っている。		職員が話をしやすい環境作りに努めると共に、1人1人が業務について高い意識を持って取り組める環境を作っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では第三者による評価は実施されていない。		第三者による外部評価の実施は無いが、子どもやその保護者の方に信頼してご利用していただけるよう業務の質の向上に努める。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	虐待防止や送迎における安全等の業務改善の為の研修は定期的に実施されており、当日参加できなかった職員に対しては、後日個別に実施している。		十分な時間を取り定期的な会議、研修を引き続きおこなっていく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者へのモニタリングでの聞き取りをおこない、それを基に職員間での話し合い、ニーズや課題の分析をおこない計画書の作成をおこなっている。		今後も保護者へのモニタリングや送迎時、面談での聞き取りをおこない、ニーズに沿った計画を心掛けて作成をおこなっていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの心身の状態や発達の段階に合わせて、個別・集団活動を組み合わせて作成している。	はいとの評価が多数、どちらともいえないが少数あり。	個々の状況に応じた個別及び集団活動を組み込んだ計画を考案していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画書の項目に、それぞれの目標や職員からの情報、保護者からのニーズを取り入れ、それに沿って具体的な支援内容を記載している。		今後も、保護者に分かりやすい具体的な支援内容の設定と、支援内容の記載を実施していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画書作成者だけでなく、全ての職員が計画書を閲覧できる状況にしており、内容に沿った個々に必要な支援を実施している。	はいとの評価が多数、わからないが少数あり。 意見:計画に沿って行われている。	必要に応じて計画書を見直しを行い、目標や課題に対して職員が同じ方向を向いて支援できる体制を継続していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	その日、新しく出来た事への報告、周知できるような時間を作りを職員全員が療育内容の提案、把握、確認を行っている。		全職員が意見を出し合える環境作りに取り組むと共に、楽しいだけでなく目的や意図を明確に盛り込んだプログラム作成に取り組んでいく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	職員の配置等を考慮しながらも、利用日や利用時間帯の希望聞き取りを行うことで、子どもや保護者の意向に沿った対応を図っている。	はいの評価が多数、どちらともいえないやわからないが少数あり。 意見:制作や、トランポリン運度等1人1人に合わせている。	安全面を十分に配慮した上で、できる限り保護者の意向に沿った支援を心がける。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	曜日や時間帯によって活動プログラムを固定してしまうのではなく、日々変化する子どもたちの状態を把握した上で、流動的なプログラムを組んでいる。		多様なプログラムが提供できるよう職員からの発案の場を設けると共に、新たなプログラムが発案された場合は、実現に向けて創意工夫していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼での口頭での伝達や連絡ノートを出社時に職員に目を通してもらい、利用者の連絡事項の確認を徹底しておこなっている。		引き続き送迎前のミーティングで支援内容や留意点等の情報を共有していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	細かい点でも報告する体制を整え、気づいたことがあればその都度話し合いや記録を行い、翌日に情報の共有化を図っている。		今後も支援終了時の報告の徹底を図ると共に、全職員が情報共有できる書類等を充実させていく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の活動や健康状態、食事摂取量等の情報を個別に記録すると共に、随時職員間で話し合いの時間を設け、検証改善を行っている。		記録者は責任を持って記録することに加え、管理者等による各記録に不備や漏れの確認を都度行うと共に、月末にもチェックしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	最長で6カ月に1度(子どもの状態が変わればその都度)の頻度でモニタリングを実施し、それに沿って支援計画書を見直し、作成している。	定期的なモニタリングや聞き取り、利用者一人ひとりに合った適確な支援計画の見直しを実施していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	子どもの状況に精通し、かつ経験豊富な職員ができる限りサービス担当者会議へ参加している。	可能な限り参加に努めていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし。	該当なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし。	該当なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	情報共有の必要がある状態では、家族の同意の下、各関係機関へ情報提供を協力的に実施している。	個人情報の取り扱いには十分配慮しながら、統一した支援が実施できるよう今後も必要に応じて情報提供の協力を行っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当なし。	該当なし。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。	今後多くの職員が研修に参加できるよう調整していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していない。	わからないが多数、いいえが少数あり。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施していない。	保護者用の評価表に該当する項目無し	機会があれば検討をおこない、地域との関わりにも努める。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用前の見学時や契約時に、担当の職員が口頭と書面にて説明を実施している。	全員からはいい評価を頂く。 意見:毎回の連絡帳や口頭でその日の様子が伝わっている。	引き続きご理解いただけるよう丁寧に説明していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を提示しながらの説明、支援内容をお伝えしている。	はいとの評価が多数、どちらともいえないの評価が1名あり。	配布時には必ずポイントを押さえたより丁寧な説明を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時や電話での対応をその都度おこなっている。	はい、いいえ、わからないの評価あり。	保護者が相談しやすい環境や時間を作っていけるよう、検討をおこない改善していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や日々の送迎時に情報のやりとりを実施しており、それだけでは不十分であれば電話等において子どもの状態に対しての共通理解を深めている。	はいの評価が多数、どちらともいえないやわからないが1名ずつあり。 意見:詳細をいつも教えてくれるのでありがたいです。	送迎時や電話対応、面談など、保護者へのごまめな報告をおこない、引き続き共通理解を徹底していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や電話にてその都度対応しており、保護者からの依頼があれば時間を設定して、来所していただいて相談ができる体制を整えている。	はいの評価が多数、どちらともいえないが少数あり。 意見:相談や気になる事を相談するとすぐに連絡をくれて相談にのってくれる。	保護者が相談しやすい環境、時間を作っていけるよう、今後とも検討改善に努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は実施していない。	いいえの評価が多数、わからないが少数あり。 意見:就園前なので他の友達の保護者との意見交換出来ればありがたいです。	父母会等の実施予定は無いが、今後とも検討をおこなっていく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応、報告体制を整えており苦情があった際はそれに沿った調査、報告、保護者への説明を行っている。	はいの評価が多数、わからないの評価が少数あり。 意見:・苦情等一切ない。・いつも手厚く対応して下さり感謝している。	迅速に明確な対応と保護者に対する説明がおこなえるよう、引き続き体制を整えていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々変化する状態について、連絡帳での伝達と送迎時のやりとりで意思疎通が図れるよう努めている。	はいの評価が多数、わからないの評価が1名あり。	子どもの状態を把握して、保護者に対してより分かりやすい情報の伝達に努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的に活動の写真を配布しており、送迎時に口頭で伝えると共に、連絡帳等を活用し日々の活動情報の発信を行っている。	はい、わからない評価が半数、いいえの評価が1名あり。 意見:定期的に写真を頂くので様子が知れてうれしい。	今後もできる限りの情報発信に努めると共に、改善できる点は検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いに対する同意書を契約時に説明すると共に、個人情報に関する書類等については、必要最低限以外の物は鍵のかかる棚に保管している。	はいとの評価が多数、わからないの評価が少数あり。	契約時の丁寧な説明と、個人情報の管理については、その都度保護者の方へ確認する等細心の注意を払う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは策定しているものの、保護者への周知は徹底できていない。	はいの評価が多数、わからないの評価が少数あり。 意見:避難先や訓練等を知っておきたい。	定期的に保護者へのマニュアル等の伝達が行えていなかった所があるので通達書類などを作成し周知徹底できる様、改善を進めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1年に2回火災や震災等の災害発生を想定した訓練を実施し、実施の際には連絡帳や口頭で保護者に報告している。	はいの評価が多数、わからないの評価が少数あり。 意見:訓練はされていると思いますが、通いだして間もないのでわからない。	引き続き計画に沿った訓練を実施すると共に、保護者の方への発信も随時行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時に虐待防止をはじめとする研修をおこなっている。1か月に一度、定期的な研修をおこない調査、課題の提示、改善、職員への周知をおこなっている。		今後とも定期的な研修の実施と毎月のチェックリストを実施して虐待防止に努める。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	子ども自身又は他者に危害が加わるような事例については、その事業所だけでなく会社全体での会議で決定しており、全職員に周知している。また、保護者にも十分に説明し、理解いただいた上で、支援計画書へ記載している。		引き続き全体での会議にて慎重に決定し、全職員が周知して同じ対応が図れる体制を維持すると共に、保護者の方への説明と計画書への記載を徹底する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りをおこない、医者からの資料や意見書を基に、アレルギーに対するの注意事項や、環境配慮の徹底をおこなっている。		引き続き十分に留意し保護者からの聞き取りを行いミスが出ないよう確実にアセスメント反映し職員間でも周知徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	自事業所内だけでなく、別の事業所で発生した事例についても事例集に記載し、事例の周知および再発防止の徹底を図っている。		引き続き書面により全職員への周知を図ると共に、再発防止に向けた対応をその都度話合っていく。